


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和3年 2 月 9 日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第5号	質問議員	4番	熊澤友子 
件名	1. 子育て支援の更なる充実を 2. 子どもの居場所づくりを			
要 旨				
<p>1. 子育て支援の更なる充実を</p> <p>山北町は、子育て支援が充実していると感じていましたが、他市町村でも同じような支援が行われており、他の地域からの移住や人口増にはつながっているとは思えません。今はコロナ禍の中で生活や仕事環境が変化し、子育て支援へのニーズも変わっていると考えられます。</p> <p>「山北町の乳幼児教育・保育等のあり方基本方針」の中で「0～15歳の一貫教育・保育と一元化を図る」とあります。とても良い取り組みであると思い、次の点について伺う。</p> <p>① 国の所管では幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省となっているが、縦割り行政をやめて担当課の一元化を図るということに支障はないのか。</p> <p>② この取り組みは幼児教育の平等性にもつながり、子育て支援も充実していくと思われる。今後の展開と実施時期は。</p> <p>2. 子どもの居場所づくりを</p> <p>放課後子ども教室と放課後児童クラブについて伺う。</p> <p>① 放課後子ども教室は参加者が減少しているようであるが、今後の対策は。</p> <p>② 放課後児童クラブ(学童)の申込数は90名で通常は44名前後、長い休みになると増えてくる。現在2教室で、異年齢の子どもたちがにぎやかに遊んだり宿題をしたり本を読んだり、静と動のメリハリがつきにくい環境である。</p> <p>そこで、向いにある図工室を学童の教室として常時利用できるように提案する。町の考えは。</p>				